

# 令和4年度文教福祉委員会行財政視察報告書

文教福祉委員長 石嶋 照幸

## 1 視察期日

令和4年10月12日（水）～13日（木）

## 2 視察地及び視察事項

福井県福井市

- ・福井市の学力向上の取組について
- 福井県坂井市三国学校給食センター
- ・坂井市三国給食センターについて

## 3 視察概要

### (1) 福井市の学力向上の取組について

#### ①福井市学校教育方針（令和4年度～令和8年度）

学びをつなぐ・未来につなげる ～「つながる」を大切にした学校づくり～

福井市がこれまで取り組んできた系統性のある連続した学びを展開する「縦のつながり」と地域に根差した学びを展開する「横のつながり」に加え、子どもの学びを「体験・経験」「こころ」「文化・歴史・自然」など様々な「人・もの・こと」とつなぐことで学校教育を充実させ、子どもたちの未来につながる生きる力を育む。

#### ②福井市学校教育目標

～郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成～

##### ア わかる授業づくり

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業
- ・積極的な授業公開と研究会
- ・教科等横断的な視点からの教育課程
- ・「学び続ける」教職員

##### イ 居場所づくり・絆づくり

- ・多様な子どもに応じた学びの場の充実
- ・いじめや不登校の未然防止、早期発見
- ・SC、SSW、いきいきサポーター等の人材活用
- ・互いに認め合える学級づくり
- ・異学年交流の充実

##### ウ 家庭・地域や中学校区との連携

- ・地域の教育資源や学習環境の積極的活用
- ・中学校区で連携した教育活動の充実
- ・スタートカリキュラムを活用した園小接続
- ・園小中の相互理解の推進

- ・家庭・地域との子どもの成長の共有
- エ 心づくり・体づくり
  - ・人権教育・道徳教育の推進
  - ・自然体験、芸術鑑賞などの交流体験活動の充実
  - ・食育・健康教育・運動習慣づけの推進
- オ キャリア教育
  - ・将来の夢や生き方について考える教育活動
  - ・「福井市キャリア教育プログラム」の活用
  - ・「夢へのパスポート」効果的活用
- カ ICT の活用
  - ・これまでの実践と ICT との最適な組み合わせによる教育の質の向上
  - ・一人一台端末の効果的な活用

### ③福井市の学校教育の概要

#### ア 福井市の学校の概況

小学校 51 校 12,965 名、中学校 24 校 6,637 名、幼稚園 1 園 5 名  
 ※うち、小中併設校 5 校  
 ※幼稚園は小学校に併設

#### イ 全国幸福度ランキング

5 回連続総合一位  
 子どもの運動能力 1 位  
 社会教育 学級・講座数 4 位  
 不登校児童生徒率 1 位 (2022 年)

### ④全国学力調査の結果分析と活用

#### ア 教育委員会では、

- ・調査研究委員会（校長、指導主事、教諭で編成）を開き、市全体として結果を分析
- ・課題に対する改善策を提案→全国学力・学習状況調査分析リーフレットを作成する

#### イ 各小中学校では、

- ・校内研究会等で学校の課題を分析
- ・校内での改善策を検討、実践する

### ⑤SASAと全国学力・学習状況調査

SASAとは、福井県学力調査の略

(Student Academic Skills Assessment)

- ・福井県教育総合研究所が主体となって、昭和 26 年から実施された
- ・平成 19 年から、小5、中2を対象に実施

※この年より全国学力・学習状況調査がスタート

- ・毎年 12 月に、小5、中2を対象に実施

※実施強化 小5 国、社、算、理、中2 国、社、数、理、英

・学力調査を活かし、継続的な取り組みを行っている

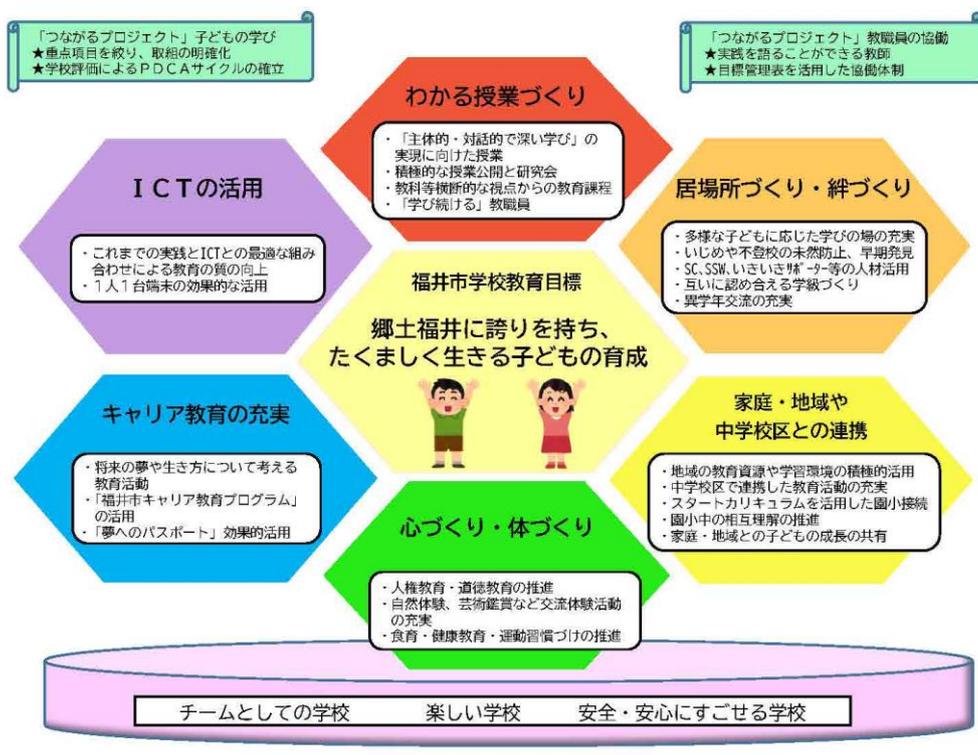
⑥子どもたちの学力を支えてきたと考えられるもの

ア 教員の授業の「縦持ち」 (中学校で実施)

- ・同じ学年を担当する複数の教員で協働して授業づくりを行うため。個人でつくる授業よりも質の高いものができる
- ・指導方針を統一してから指導に当たるため、担当教員による差が生まれない
- ・中学校1年から3年までの3年間を見通した教科指導ができる
- ・他学年の生徒とのつながりが生まれ、学校全体で生徒を育成する意識が強くなる
- ・若い教員にとっては先輩教員の授業手法を自然に学ぶことができ、効果的にスキルアップを図ることができる
- ・縦持ちは、教員のスキルの向上につながる

イ 家庭・地域の環境

- ・祖父母の存在、地域の信頼  
3世代世帯の割合が高く、世帯人員が多いが、共働き世帯の割合が高い  
核家族の割合は低い → 家庭が安定している  
転出入が少ない → 地域が安定している



福井市教育委員会基本理念

みんなが学び成長するふくいの教育～全国に誇れる教育環境のさらなる充実～

## (2) 坂井市三国学校給食センターについて

### ①事業の目的

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康的な生活を送る基礎を培う、安全安心な、美味しく栄養のバランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する非道の充実を図る

### ②センター施設概要

所在地：坂井市三国町楽円第 53 号 3 番地 2

着工：平成 30 年 9 月 3 日

竣工：令和元年 10 月 31 日

構造：鉄骨造り（2 階建て）

敷地面積：9099.62 m<sup>2</sup> 床面積：1 F / 2213.7 m<sup>2</sup> 2 F / 738.59 m<sup>2</sup>

総事業費：約 14 億円

厨房方式：ドライ方式

主要熱源：LPG ボイラー（バルクタンク）

使用水：上水道（受水槽経由）

排水方式：下水道（排水処理装置経由）

調理能力：3,500 食 / 日

配送先：幼稚園 3 園、認定こども園 1 園、小学校 9 校、中学校 1 校

令和 2 年 4 月より、新築移転を行い、調理業務等業務の一部を民間委託

### ③センターの特徴

- ・学校と幼稚園（こども園）の 2 献立調理
- ・地場産物を活用した給食の提供
- ・月齢に合わせた 3 段階の離乳食を調理
- ・学校と幼稚園で別々のアレルギー食調理室を設置
- ・高い衛生管理に基づき、安全安心な給食を提供
- ・2 階に設置した特設窓から厨房内を見学

### ④食育活動

- ・「年間計画」に挙げた目標、月ごとの指導目標、献立のポイントなどを基に月々の献立を作成している
- ・予定献立表、献立一口メモ、給食だより等を通して食に関する情報を提供する
- ・小中学校への栄養士訪問を 4 限目（食に関する指導）と給食の時間で実施している

### ⑤体制

学校教育課学校給食管理事業

- ・施設管理：センター長、市事務職員、市管理栄養士（アレルギー対応食）
- ・県職員 学校給食献立作成・食育指導：栄養教諭、学校栄養職員補助
- ・保育課（健康福祉部） 幼稚園等給食：市管理栄養士（幼保園等）
- ・業務委託：配送業務「アイエス」11 名、調理業務等「メフォス」40 名



坂井市立三國学校給食センター



坂井市立三國学校給食センターの主な設備